

申部

◇名古屋支局◇
名古屋市中村区
那古野1-38-1
星光楼通ビル5階
TEL052(566)2290
FAX052(566)2291

大府市（岡村秀人市長）は昨年12月、市立小学校4校の体育館へのLPガス仕様GHP

と災害対応型バルクの設置工事を完了し、1月から稼働を開始した。LPガスの供給は大府市プロパンガス協同組合（伊藤頼一理事長）に加盟する4事業者が行う。過去に市内の小学校9校の普通教室、中学校4校の普通教室と体育館への導入実績があるが、小学校体育館への導入は今回が初めて。

大府市

4小学校体育館にGHP

災害対応地域4事業者が供給

今回導入した小学校は神田小、北山小、共和西小、石ヶ瀬小の4校。設備は4校共通でGHPはアイシン製電源自立型「ハイパワープラス」（エグゼアII、56キロワット馬力）を各校3台ずつ計12台（240馬力）、室内機は12台ずつ計48台、炎対バルクはI・T・O製980キログラムタイプ

を2基ずつ計8基設置した。昨年9月14日に工事を開始し12月24日までの約3カ月間で完了、工事完了前に学校教育課施設係職員と校務主任に対し設備の動作確認と操作説明を行った。

大府市は、災害対策と害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業補助金を活用している。市では災害発生時の避難所として空調利用のほか夏の熱中症予防対策としても期待する。

総工事費は4校合計で約1億6750万円。20年度第3次補正予算「災害

立小中学校教室などにLPガス仕様GHPやバルクを設備してきた。19年には市立小学校9校と中学校4校の普通教室と特別支援教室、20、21年には中学校4校の体育館・



石ヶ瀬小学校の災害対応バルクとGHP



共和西小学校のGHP室外機

校の体育館・

武道場にも設置済み。今回の小学校体育館への設置は市が2カ年計画で進めてきたものだ。1年目9校となる。

に4校設置が完了し、22年度は小学校5校の体育館にも設置する予定で計